

【行政説明②】令和7年度 沖縄県幼児教育合同研修会

## 県内の幼児教育に係る 現状と課題・今後の方向性

沖縄県教育庁義務教育課幼児教育班  
令和7年8月1日(金)

1

### 【説明の内容】

#### 1 本県の現状と課題

- (1) 幼児教育の質の向上
- (2) 幼児教育と小学校教育の接続

#### 2 今後の方向性

- (1) 県架け橋期コーディネーター等派遣事業について
- (2) 保育の「振り返り」について
- (3) 保幼こ小の架け橋プログラムについて

2

2

#### 1 本県の現状と課題

- (1) 幼児教育の質の向上
- (2) 幼児教育と小学校教育の接続

3

3

多様な施設類型の園それぞれの特色や実態を踏まえた  
訪問・研修・事業の実施が求められる。

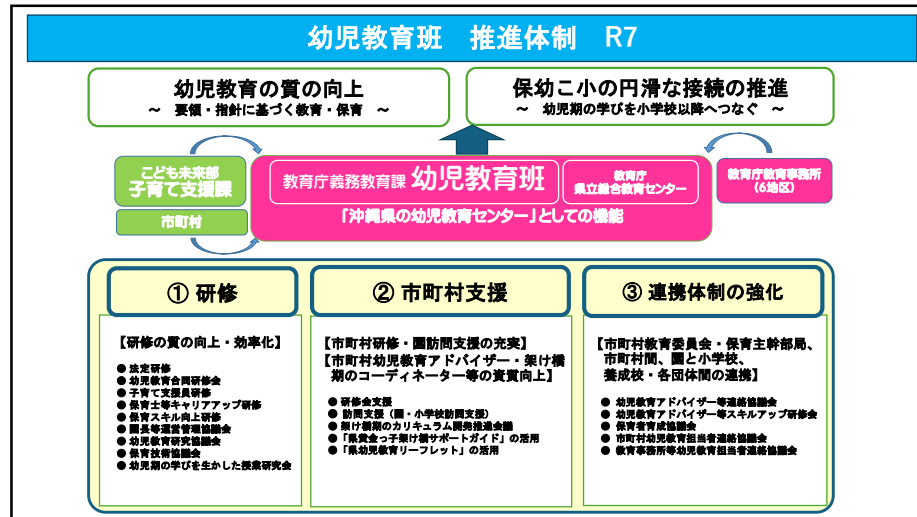
園種		幼稚園		認定こども園						保育所			地域型保育事業所			認可外
R7	公立	私立	幼稚園型		幼保連携型			保育所型		公立	私立	公私	小規模	家庭的	事業所内	
			公立	私立	公立	私立	公私連携	公立	私立							

公立幼稚園：沖縄県教育委員会「学校一覧」

私立幼稚園・認定こども園・保育所・地域型保育事業所：沖縄県こども未来部子育て支援課

4

4



5

## 【訪問支援】

	訪問支援	研修支援
R2	67回	29回
R3	57回	31回
R4	64回	30回
R5	52回	42回
R6	52回	62回
R7	29回	53回

+ 計画研修38回  
R7. 7月時点

架け橋期コーディネーターによる  
訪問支援（保育参観、相談会）

オンライン相談会

登録制アドバイザーによる  
訪問支援（特別支援教育）

6

6

## 【研修会支援】

県架け橋期コーディネーターによる  
研修支援（幼児教育の質の向上）指導主事や架け橋期コーディネーターによる研修支援  
（幼児教育と小学校教育の接続について）架け橋期コーディネーター（登録制アドバイザー）  
による 研修支援（幼児教育の質の向上）

7

## これまでの訪問支援・研修会支援の成果

- ・本事業を市町村や各施設において計画的に活用する等、継続した活用があったことで、学びを積み重ね、更に内容の充実を図ることができた。
- ・市町村の教育委員会と福祉部局との連携が図られたことによって、各種幼児教育施設への周知及び活用が広がった。
- ・本事業を通して、市町村の担当者やアドバイザーとの関係を構築することができ、連携や協力が図りやすくなっている。

8

8

### 訪問支援で見てきたもの

- 共に保育の振り返りをすることによって、自園の良さや課題について理解を深めている。
- 指導計画（長期・短期）の整合性を図るうえで3要領・指針を積極的に活用することが必要。
- 保育の方法について、国が示す「子どもの主体性を大切にした保育」についての理解を深めていくことが必要。



要領・指針に基づく教育及び保育  
更なる振り返りの推進

9

## I 本県の現状と課題

(1) 幼児教育の質の向上

(2) 幼児教育と小学校教育の接続

10

### 幼児教育スタートプランの実現

中央教育審議会・幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会が取りまとめた審議経過報告等を踏まえ、持続可能な社会の創り手の育成に向けた、幼児教育と「架け橋期（5歳～小1）」の教育の質を保障。



### 幼児教育スタートプラン

学びや生活の基盤を支える幼児期から教育の充実を図り、施設類型や地域、家庭の環境を問わず、**全ての子どもに対して格差なく質の高い学びを保障**としており、具体化を強力に推し進めるとしています。

令和4年度～  
文部科学省推進

11

### 市町村保幼小合同研修会

幼児教育保育施設職員、小学校教頭及び1年担任等が参加



各園の保育ドキュメンテーションをもとに園の様子や幼児の実態等を伝え合う。



園と小学校の職員が目指す子ども像や子ども達の資質・能力について協議を行う。

12



## 環境構成を工夫し、安心感をもてるようにする

豊見城市立伊良波小学校 4月18日

### 子供たちの安心感・「やりたい」を生み出す環境構成

伊良波小学校の取り組みを参観していると、幼稚園教育の基本である「環境を通して行う教育」をうまく活用していることがわかります。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の具体的な様子が活動の中から見えていました。下記の資料の中からも、「(1)健康な心と体(3)協同性(4)道徳性・規範意識の芽生え(8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚(10)豊かな感性と表現の姿」等を感じることができました。これらの環境構成については、前年度から話し合い調整がされている上に、参観当日の午後も、環境構成について再度話し合いがもたれるということでした。小学校生活へのスムーズな移行に向け、幼小ががっちりスクラムを組んでいます



(4)道徳性・規範意識の芽生え



(8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚



(1)健康な心と体



園と同様の環境づくり



13

13

## 子どもの姿をもとに語り合う

### 第1回 保こ小連携連絡協議会

授業参観後は、当山小学校区の6園の先生方と連絡協議会が行われました。子供の様子を中心に、スタートカリキュラムについて感想や意見等を述べあっていました。幼児教育施設の職員と小学校職員との対話を通して幼児教育で培った学びや育ちを小学校教育へつなぐため、子どもの姿を中心に語り合うことで双方の保育・教育の理解を深めていました。年度スタートの煩雑な日ではありましたが、スタートカリキュラムの効果を実感された様子でした。

協議会の後半では、公立園が中心となつて「カリキュラムシート」の加筆・修正、今後の計画等について確認がされていました。

(参加者の声)

- 園の取り組みとの「つなぎ」ができていくかについて、たくさんの意見をいただき、柔軟に対応していきたい。
- なかよしタイムを通して、児童理解がしやすくなっていると感じる。
- 初めて参観したが、1年生の先生方が保育士に見える時間だった。先生も子供たちもイキイキとして、お互いが楽しそうにしていた。
- 小学校のイメージが変わった。ルールを守る、友達を待てるなどの規範意識も高まっており、指示の出し方について参考になった。
- 園が違っても、活動の中で会話したり、成功を喜んだりするなどの様子が見られたことはよかった。安心することができた。
- 活動を選択できることはよい取り組みだと感じるが、遊びが探せず、教室に一人で行く子についての声掛けを意識してほしい。



参観後の連絡協議会



参観の視点の明確化



注目ポイント  
・小学校のリーダーシップ  
・近隣園を巻き込んだ組織的な取組

14

14

## スタートカリキュラムの充実

### <1年生にとって>

・「おはようタイム」、「のんびりタイム」でコマ回しや外遊び、色塗りなどなど、子どもが自分のやりたいことができる

⇒子どもの得意分野が発揮できる！

・クラスの壁がないので、新しい友達ができる。入学前の園での友達や気の弱い子なども、気の合う子との交流の機会。

・学年スペースなどの広場がない小学校にあっても、「始業前」や「朝の会」、「1校時」も園での生活を取り入れたスタートカリキュラムを学年全体で共通して実践していたので、子ども達は、安全・安心で楽しそうに過ごしていた。

### <先生方にとって>

・隣のクラスの児童が分かる。・子どもの登校渋りが無くなる。

### <スタートカリキュラムの実施に当たって>

・教育課程(スタカリ)の見直し

・スタートカリキュラムについて全職員での共通理解

15

15

## 2 今後の方向性

- (1) 県架け橋期コーディネーター等訪問支援事業について
- (2) 保育の「振り返り」について
- (3) 保幼こ小の架け橋プログラムについて

16

16

## 県架け橋期コーディネーター等派遣支援事業の活用

助言者が、依頼のあった幼児教育保育施設又は小学校を訪問し、**保育参観（授業参観）を踏まえ、相談内容に対する指導助言を行う。**  
 （内容により、登録制特別支援アドバイザー同行）

### 【幼児教育保育施設】

（訪問者：県幼児教育アドバイザー又は幼児教育班指導主事）

- ・ 乳幼児理解、環境構成、保育者の援助、指導計画等に関すること

### 【公立小学校】

（訪問者：幼児教育班指導主事）

- ・ 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関すること
- ・ 架け橋プログラム及び架け橋期のカリキュラムに関すること
- ・ スタートカリキュラムに関すること
- ・ 幼児期の学びをつなぐ授業改善に関すること（生活科）

**随時募集しています。  
ご活用を！**

17

17

申込フォームは、県教育庁ホームページに掲載してありますので御活用ください

18

## 2 今後の方向性

- (1) 県架け橋期コーディネーター等派遣支援事業について
- (2) 保育の「振り返り」について
- (3) 保幼小の架け橋プログラムについて

19

19

日々の保育の中で、幼児理解について  
「振り返り」を行っている頻度

R6 9月実施  
回答率：73.8%  
1052/1425園

回数	園数	割合
ほぼ毎日 週4～5日程度	270園	25.7%
週に2～3日程度	215園	20.4%
週に1日程度	218園	20.7%
月に1～3日程度	253園	24.1%
年に1～10日程度	77園	7.3%
全く実施していない	19園	1.8%

20

20

## 「振り返り」の推進



### 幼稚園教育要領

「第1章第4 指導計画の作成と幼児理解に基づいた評価」より抜粋

- 指導の過程を振り返りながら幼児の理解を進め、幼児一人一人のよさや可能性などを把握し、指導の改善に生かすようにすること。
- 幼児の実態及び幼児を取り巻く状況の変化などに即して指導の過程についての評価を適切に行い、常に指導計画の改善を図るものとする。

### 幼保連携型認定こども園教育・保育要領

「第1章第2 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画等」より抜粋

- 指導の過程を振り返りながら幼児の理解を進め、幼児一人一人のよさや可能性などを把握し、指導の改善に生かすようにすること。
- 園児の実態及び園児を取り巻く状況の変化などに即して指導の過程についての評価を適切に行い、常に指導計画の改善を図るものとする。

21

21

## 「振り返り」の推進



### 保育所保育指針

「第1章3 保育の計画及び評価」より抜粋

- 子どもの活動内容やその結果だけでなく、子どもの心の育ちや意欲、取り組む過程などにも十分配慮するよう留意すること。
- 自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所全体の保育の内容に関する認識を深めること。
- 保育の計画に基づく計画、保育の内容の評価及びこれに基づく改善という一連の取組により、保育の質の向上が図られるよう、全職員が共通理解を持って取り組むことに留意すること。

22

22

## 子どもの「やりたい」と「やってみよう」を引き出し、 子どもの夢と保育者の願いを実現する保育の創造

—子どもを育て 子どもを語り 子どもから学ぶ保育者—

「遊びは学び」

幼児期の子どもは「学びの意欲」の時期といわれ、学ぶことを意欲しているだけでなく、楽しいことや好きなことに没頭することを通して様々なことを学んでいます。

★幼児教育の基本★

一人一人の発達に応じた指導

環境を通しての総合的な指導

幼児期にふさわしい生活

乳児から幼児へ育ちのつながり

一歩一歩・指針に基づいた保育実践

PDCAサイクルによる教育・保育の質の向上

月間指導計画

週・日案

実践

振り返り

改善

《発達や学びの連続性》

《子どもの学びの連続性》

《保育者の学びの連続性》

《保育者の学びの連続性》

《保育者の学びの連続性》

《保育者の学びの連続性》

《保育者の学びの連続性》

《保育者の学びの連続性》

《保育者の学びの連続性》

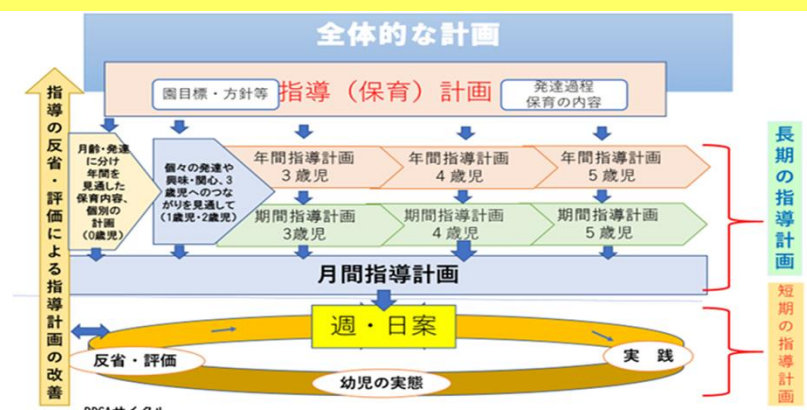
《保育者の学びの連続性》

《保育者の学びの連続性》

23

23

## PDCAサイクルによる教育・保育の質の向上



24

24



# 遊びで育む 「黄金っ子」の

## 丈夫な心と体 〈ちゅーぼー〉

## 心 〈ちむくくる〉

### 子どもが夢中になって遊び込む保育

子どもの「やりたい」気持ちを叶え、量かに育つ保育の実現

### 知恵 〈じんぶん〉

考えること大好き

#### 体を動かすこと大好き

(心も体も健康な子ども)

身体を動かす遊びを通して、気持ち良さや楽しさを味わったり、色々な運動に自ら関わったり、挑戦しようという気持ちを持って、粘り強く取り組んだりするなど心も体も健康な子ども



体を動かすこと大好き

#### 人と関わること大好き

(自分も友達も大切にすることができる子ども)

自分を認められる受容いばの周りの大人に支えられながら、人を信頼する気持ちを持って、自分らしさを発揮できる場の中で、楽しい・嬉しい・面白い・悔しい等の様々な感情を体験したり、友達の良さに気付いたりしながら、自分も友達も大切にすることができる子ども



おきなわ大好き

#### 考えること大好き

(「やってみよう」という気持ちを持ち、遊びに夢中になる子ども)

周りの環境に興味や関心をもって自ら関わり、「やってみよう」という気持ちを持ち、遊びの世界を広げたり、「面白い」「次はこうしてみよう」「もっと面白くしたい」等、友達と夢を実現したりするなど、遊びを創造する子ども



人と関わること大好き

#### めざましなわ大好き

(豊かな自然や文化と出会い、心を動かさ表現する子ども)

身近な自然(水・土・草花・風や雨・火(火・身の安全を大切に)、食やゴミ、地域の習慣やわらべ歌、地域の言葉や行事等、豊かな文化に出会い、不思議さや美しさ、心地よさを感じながら、心を動かしたり言葉や体で表現したりする等、心豊かな子ども



めざましなわ大好き

25

## 今すぐできる手軽な・簡単な 保育リフレクション

※園内研修用準備物資料

<https://drive.google.com/drive/u/1/folder/1L1XX0J6X6X6G6vJmMh4d6jzL3J3X0XU/>





## 県立総合教育センターより提供

### 保育リフレクションの進め方（説明書）

本資料は、県立総合教育センターが、県内各保育所・幼稚園等に配布している、実践・研究資料の1冊として、保護者向けに作成したものです。

【参加にあたってのお願い】

- 多様な意見や考えを大切にします。
- 保護者同士の会話や思いを大切にします。
- 匿名でよい質問することをお勧めします。

### 司会進行シナリオカード

1 はじめの挨拶  
(司会)

**幼児期から児童期へ育ちをつなぐ**  
～乳幼児期の質の高い教育・保育から児童期の学びへの接続～

**幼児期**

幼児期の学びと育ちを大切にしましょう

『学びの芽ば』

幼児期の内発的な発達の兆し

愛情	成長	自立
愛情に包まれ、安心感を得る	身体が成長し、運動能力が向上する	自己意識が芽生え、自己肯定感が育ち始める
言葉の理解と発音が進む	知覚・運動能力の発達により、物事に興味・関心をもち始める	簡単な指示やルールを理解し、行動できるようになる
社会性が発達し、他児との関わりが深まる	想像力や創造力が育ち、遊びの世界が広がる	自分の名前や年齢を認識し、自己表現の機会を得る

**児童期**

児童期の学びと育ちを大切にしましょう

『学びの芽ば』

児童期の内発的な発達の兆し

愛情	成長	自立
愛情に包まれ、安心感を得る	身体が成長し、運動能力が向上する	自己意識が芽生え、自己肯定感が育ち始める
言葉の理解と発音が進む	知覚・運動能力の発達により、物事に興味・関心をもち始める	簡単な指示やルールを理解し、行動できるようになる
社会性が発達し、他児との関わりが深まる	想像力や創造力が育ち、遊びの世界が広がる	自分の名前や年齢を認識し、自己表現の機会を得る

**総合**

遊び(遊び)の大切さ

幼児期の学びの芽ば

児童期の学びの芽ば

**各教科学習**

幼児教育

児童教育

遊びを通した総合的な学び

幼児期から児童期へ育ちをつなぐ

幼児期から児童期へ育ちをつなぐ

幼児期から児童期へ育ちをつなぐ

## 2 今後の方向性

- (1) 県アドバイザー巡回訪問支援事業について  
(2) 保育の「振り返り」について  
(3) 保幼小の架け橋プログラムについて





## 架け橋プログラム(接続期)の充実に向けて

～ 幼保小連携・接続のこれまでとこれから ～

	これまで	これから
目的	小学校への順応	学びの連続 カリキュラム
内容	交流活動	カリキュラム編成
期間	数か月 スタートカリキュラム いわゆる アプローチカリキュラム	2年(架け橋期)
実施単位	施設単位	地域単位 体制

出典：令和6年度幼児教育専門研修（文部科学省初等中等教育局強学官（伊）幼児教育課 幼児教育調査官 横山 真貴子）講義資料より

33

幼児教育の理解・発展推進事業

## 幼児教育研究協議会

### 【協議主題】

幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について

### 【協議の視点】

① 幼児教育施設間、幼児教育施設と小学校間における相互理解の促進

体制づくり

② 架け橋期のカリキュラムの開発・実施

カリキュラム・教育方法  
の充実・改善

34

34

幼児教育の理解・発展推進事業

## 幼児教育研究協議会

### 【各地区の協議会日程】

- 国頭地区 …… 令和7年10月3日（金）
- 中頭地区 …… 令和7年11月19日（水）
- 那覇地区 …… 令和7年10月30日（木）
- 島尻地区 …… 令和7年10月31日（金）
- 宮古地区 …… 令和7年11月12日（水）
- 八重山地区 …… 令和7年11月14日（金）

35

保幼小の育ちをつなぐ

## 黄金っ子 架け橋サポートガイド

年間スケジュール表（補完版）

ガイド



ワークシート集

### ワークシート目次

- ワークシート1 基礎づくりから改善・発展やイタムの定着に至るまでのプロセスの整理
- ワークシート2 接続期の終わりにまで見てほしい姿（例）  
接続期の終わりにまで見てほしい姿（例）
- ワークシート3 関係する子どもたち
- ワークシート4 遊びを通じた幼児の学び
- ワークシート5 生活科の学習①：はなを育てよう  
生活科の学習②：なつがやってくる  
生活科の学習③：あまのからのももをつぼう
- ワークシート6 スタートカリキュラム編成表（例）  
スタートカリキュラム編成表（例）  
スタートカリキュラム編成表（例）
- ワークシート7 先生の関わり・環境の構成①：園庭する子

架け橋期の  
カリキュラム




36

36

## スタートカリキュラム



『発達や学びをつなぐ スタートカリキュラム』P6より



園での生活 (お店ごっこ)



園での生活  
季節ごとの行事や園児生活を通して、発達や学びが育まれています。

37

## 幼児期及び幼保小接続期の教育に関する参考資料

### 幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ

幼児教育施設・小学校での入園・入学説明会、保護者会、研修等や自治体主催の教職員研修など幅広く御活用ください。※本動画の複製、転載、引用等の際は出典を明記する必要があります。

動画  
コンテンツ



幼児教育は何のため？ (約2分)

▼幼児期の大切な学びが分かる動画

<https://youtu.be/MExUaZ6M3G0>



「遊びは学び」ってどういうこと？ (約7分)

▼幼児教育施設においては、子供たちに遊びを通して資質・能力を育てている等について、子供たちの遊んでいる姿や幼児教育施設と小学校の先生のインタビューを

交えながら解説しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=UxTAI3XWfGg>



「学びの芽」を育む園の工夫って？ (多様な遊び編) (約9分)

▼幼児教育施設では、多様な遊びの中で、どのように子供たちの資質・能力を育てているのか、園長先生と先生たちが対話形式で解説しています。

<https://youtu.be/VNjOwpuDd44>



「学びの芽」を育む園の工夫って？ (とろんど遊び編) (約7分)

▼とろんど遊びの中で、どのように資質・能力が育まれているのか、解説しています。

<https://youtu.be/YuIP2Cukq-L>



38

## 幼児教育と小学校教育のつながりを見る化

文部科学省作成参考資料  
幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？

幼児教育と小学校教育において育まれる資質・能力や教育活動等のつながりを見る化した幼児教育及び小学校関係者向けの参考資料が公開されています。



<https://qr.paps.jp/iVsjg>



コラム  
5歳児後半の実践事例  
入学当初(4月)の実践事例



第2章 各教科等における学びのつながり  
国語科・算数科・生活科・音楽科・図画工作科・  
体育科・特別の教科道徳・特別活動

39

## ◆ 幼児教育班通信「きらり」



40

全ての子供に対して  
格差なく質の高い学びを推進  
子供のウェルビーイングを保障するカリキュラムの実現

幼児児童生徒の  
「生きる力」「社会的自立」に向けて  
幼児期の教育は  
人格形成の基礎を培い  
生きる力の基礎を育む  
重要な役割を担っている

41